

羽田次郎さん 圧勝

市民と野党の連帯の力が深化 次は衆院選で全選挙区の勝利を

参議院長野補選は4月25日、投開票され市民と野党の統一候補・羽田次郎さんが自民候補に約9万票の差をつけて圧勝しました。菅義偉政権の下で初めて行われた国政選挙で、長野県民の政権に対するNO!の世論を突き付けることができました。また、市民と野党が共同の力を発揮すれば、一強・自民党に対抗し、政権交代によって新しい政治、国民の声が届く政治をつくることのできる確信が深まりました。次は、衆院選。県内5選挙区すべてで自民候補に勝利して、新しい時代を切り拓きましょう。みなさん、お疲れさまでした！



勝利の花束を掲げる羽田次郎さん（25日）



開票報告会で祝福を受ける羽田次郎さん（25日）



報告会の会場ではテレビの全国中継も（25日）



信州市民アクションの代表や3野党関係者、支持団体などが壇上で勝利を確認（25日）

羽田次郎さん — 開票報告会でのあいさつ

昨年の暮れ、12月27日に、兄が新型コロナで急逝して、明後日で4カ月。そして今日、こうして兄が残した4年余りの任期を、私、羽田次郎が、受け継ぐことが決まりました。本当にありがとうございました。

本当に今日まで、ここに集まってくださった皆さま、そしてオンライン配信でも同志の皆さまが、この勝利の瞬間を共に分かちあってくださっていること、大変うれしいと同時に、本当に、重ねて心からの御礼を申し上げます。本当に最後まで、共に闘ってくださりまして、ありがとうございました。

◆コロナの終息に向け国民の代弁者になる

先ほど、ニュースを見ていて、正直、8時になったことに気がつかなかったのですが、ただ、その前のニュースのなかで、今日も信州・長野県で4名の方が新型コロナで命を落とされました。心からお悔やみを申し上げます。そして今日、今この瞬間にも、私と同じような、悲しみに暮れているご遺族の方やご友人たち、そうした皆さまが大勢いらっしゃいます。

今まで、この1年以上ものあいだ、「ワクチンどうなったんだ？」、「病床数はどうなっている？」、そして「PCR検査はどれだけの数の人が受けられている？」、「いつでもだれでも、負担なく受けられる体制、どうしてつくり上げられなかったの？」、本当に、このコロナのせいで、繰り返し繰り返しの感染の拡大、波が訪れて、地域の経済、逼迫して、「明日どうやって生活をしようか」と心を悩ませている方、大勢いらっしゃいます。

1日も早く、このコロナを終息させなければなりません。病床数やワクチンのこと、検査のこと、しっかりと国に問い質したい。そして、経済を1日も早く、再生させる。この国難、乗り越えるために、政府と国会が、一丸になって、取り組まなければならないと思います。私も、その一員として、信州そして国民の代弁者として、コロナの終息を一

日も早く、やり遂げること、その仕事をするを、まず皆さまにお約束します。

◆スモール・ボイス・ファーストで皆様の声を国政へ

そして兄が言い続けた、「チルドレン・ファースト」。今の子どもたちの目線で、政策を立案し、地域の子もたちが、安心で安全、そして何よりも平和な国を残していく。これもしっかりと、兄・雄一郎の思いも胸にして実現して参ります。そして、今の子どもたちが、大人になるまでに、普通の人が、普通に政治参加をして、そしてそれがしっかりと、国に届く、どんな家庭に生まれても、どんな環境で育っても、自由な選択ができて、その選択が、なんの偏見もなく、受け入れられる社会をつくっていく。それが、私が言い続けてきた「スモール・ボイス・ファースト」。小さな声をしっかりと大切に、地域の皆さまの思いを、国政へと届けて参ります。

そのことを信じて、本当に今日まで一緒に、皆さまが闘ってくださったこと、その期待の大きさと同時に、わたくし自身の責任も大変重いものがあると実感しております。

今日が本当に私にとっての大きな節目となりましたが、今日この瞬間、新たな自分自身に生まれ変わったと、そういう気持ちで、しっかりと皆さまの代表として、働いて参ることを、お誓い申し上げ、私からの御礼と、そして当選したことに対する決意のご挨拶とさせていただきます。本当に今日は、そして今日まで、ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



信州市民アクション

- ◆戦争をさせない1000人委員会・信州
長野市県町532-3 電話026-234-2116 FAX234-0641
- ◆憲法9条を守る県民過半数署名をすすめる会
長野市県町593 電話026-234-2216 FAX234-2219